

財 務 諸 表

平成27年度
(第6期事業年度)

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

目 次

貸借対照表	-----	3
損益計算書	-----	4
キャッシュ・フロー計算書	-----	5
利益の処分にに関する書類	-----	6
行政サービス実施コスト計算書	-----	7
注記事項	-----	8
附属明細書	-----	11
(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第85 特定の償却資産の減価にかかる会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	-----	12
(2) たな卸資産の明細	-----	13
(3) 有価証券の明細	-----	13
(4) 長期貸付金の明細	-----	13
(5) 長期借入金の明細	-----	13
(6) 引当金の明細	-----	13
(7) 資産除去債務の明細	-----	14
(8) 保証債務の明細	-----	14
(9) 資本金及び資本剰余金の明細	-----	14
(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	-----	14
(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	-----	14
(12) (運営費負担金以外の)地方公共団体等からの財源措置の明細	-----	14
(13) 役員及び職員の給与の明細	-----	14
(14) 開示すべきセグメント情報	-----	15
(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	-----	15

貸借対照表
(平成28年3月31日)

【単位:円】

資産の部		負債の部	
Ⅰ 固定資産		Ⅰ 固定負債	
1 有形固定資産		資産見返運営費負担金	67,434,697
土地	905,510,550	建設仮勘定見返運営費負担金	
建物	4,916,071,823	建設仮勘定見返補助金等	
建物減価償却累計額	△ 253,857,540	長期預り補助金等	2,803,941
建物附属設備	3,057,872,304	資産見返補助金等	
建物附属設備減価償却累計額	△ 433,425,274	長期借入金	10,825,058,171
構築物	417,496,311	退職給付引当金	103,146,352
構築物減価償却累計額	△ 45,992,103	固定負債合計	10,998,443,161
器械備品(医療機器)	3,087,985,982	Ⅱ 流動負債	
器械備品減価償却累計額(医療機器)	△ 975,389,073	短期借入金	500,000,000
器械備品(一般)	151,020,155	一年以内返済予定長期借入金	567,041,566
器械備品減価償却累計額(一般)	△ 56,614,604	医業未払金	646,338,137
その他有形固定資産		医業外未払金	3,934,673
有形固定資産合計	10,770,678,531	その他未払金	221,369,760
2 無形固定資産		仮受金	
ソフトウェア		預り金	52,732,377
その他無形固定資産		運営費負担金債務	
無形固定資産合計	0	賞与引当金	61,923,041
3 投資その他の資産		その他流動負債	
長期前払費用		流動負債合計	2,053,339,554
長期貸付金	74,974,791	負債合計	13,051,782,715
長期前払消費税	423,501,933		
その他投資資産	199,800	純資産の部	
投資その他の資産合計	498,676,524	Ⅰ 資本金	95,235,850
固定資産合計	11,269,355,055	設立団体出資金(東金市)	70,093,585
		設立団体出資金(九十九里町)	25,142,265
Ⅱ 流動資産		Ⅱ 資本剰余金	2,266,717,204
現金及び預金	316,779,761	資本剰余金(運営費負担金)	10,550
医業未収金	597,807,648	資本剰余金(補助金等)	2,620,239,886
医業外未収金	7,715,021	損益外減価償却累計額	△ 353,533,232
貸倒引当金		Ⅲ 利益剰余金	
医薬品	24,268,519	積立金	
診療材料		当期未処分損失	△ 3,196,496,647
前払費用	1,313,118	(うち当期総損失)	△ 1,656,195,299
仮払金		利益剰余金合計	△ 3,196,496,647
流動資産合計	947,884,067	純資産合計	△ 834,543,593
資産合計	12,217,239,122	負債純資産合計	12,217,239,122

損益計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【単位:円】

営業収益			
医業収益			
入院収益	2,964,240,407		
外来収益	550,369,365		
その他医業収益	104,254,565	3,618,864,337	
運営費負担金収益		728,353,000	
補助金等収益		9,477,000	
資産見返運営費負担金戻入		22,604,287	
資産見返補助金戻入		0	
雑益		2,790,295	
営業収益合計			4,382,088,919
営業費用			
医業費用			
給与費	2,303,045,864		
材料費	1,174,907,447		
減価償却費	694,844,398		
経費	1,543,449,253		
研究研修費	4,835,900		
たな卸資産減耗費		5,721,082,862	
一般管理費			
給与費	194,199,290		
減価償却費	21,753,339		
経費	0	215,952,629	
営業費用合計			5,937,035,491
営業利益(△は営業損失)			△ 1,554,946,572
営業外収益			
運営費負担金収益		206,487,967	
財務収益		35,599	
その他営業外収益		23,841,361	
営業外収益合計			230,364,927
営業外費用			
財務費用		131,559,022	
その他営業外費用		51,950	
営業外費用合計			131,610,972
経常利益(△は経常損失)			△ 1,456,192,617
臨時損失			
固定資産除却損		1,002,682	
過年度損益修正損		199,000,000	
臨時損失合計			200,002,682
当期純利益(△は当期純損失)			△ 1,656,195,299
目的積立金取崩額			
当期総利益(△は当期総損失)			△ 1,656,195,299

キャッシュ・フロー計算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【単位:円】

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	△ 913,942,130
人件費支出	△ 2,521,127,157
その他の業務支出	△ 1,234,384,610
医業収入	3,487,896,973
運営費負担金収入	934,840,967
補助金等収入	309,275,886
預り金の増加額	16,811,191
前事業年度消費税還付金	20,181,805
その他	24,439,001
小計	123,991,926
利息の受取額	35,599
利息の支払額	△ 131,559,022
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,531,497
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 312,067,441
有形固定資産の売却による収入	
貸付による支出	△ 14,280,000
投資資産の取得による支出	△ 199,800
運営費負担金収入	
補助金等収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 326,547,241
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	500,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 350,000,000
長期借入れによる収入	965,100,000
長期借入金の返済による支出	△ 493,800,263
運営費負担金収入	
その他の支出	△ 51,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	621,247,787
IV 資金増加額(△は資金減少額)	287,169,049
V 資金期首残高	29,610,712
VI 資金期末残高	316,779,761

注記事項

資金の期末残高と貸借対照表科目別の内訳は、次のとおりです。

現金及び預金	316,779,761 円
資金期末残高	316,779,761 円

損失の処理に関する書類
(平成28年5月25日)

【単位:円】

科目	金額
I 当期末処分損失	△ 3,196,496,647
当期総損失	△ 1,656,195,299
(前期繰越欠損金)	△ 1,540,301,348
II 損失処分数額	0
積立金取崩額	0
III 次期繰越欠損金	△ 3,196,496,647

行政サービス実施コスト計算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【単位：円】

科目	金額	
I 業務費用		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用	5,721,082,862	
一般管理費	215,952,629	
営業外費用	131,610,972	
臨時損失	200,002,682	6,268,649,145
(2)(控除)自己収入等		
医業収益	△ 3,618,864,337	
寄附金収益		
受託収入		
その他営業収益	△ 2,790,295	
その他営業外収益等	△ 23,841,361	△ 3,645,495,993
業務費用合計		2,623,153,152
(うち 減価償却充当補助金相当額)		
II 損益外減価償却費相当額	353,533,232	
II 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		
地方公共団体出資の機会費用	△ 1,283,923	△ 1,283,923
III 行政サービス実施コスト		2,975,402,461

注記事項

I 継続企業の前提に関する注記

① 継続企業の前提に関する重要事象等

当法人は平成 22 年 10 月に地方独立行政法人として設立し、救急医療、急性期医療に軸足を置いた地域中核病院という使命のもと平成 26 年 4 月に東千葉メディカルセンター(病床数 314 床)を開院しました。当事業年度においては、医業収益は 3,619 百万円を計上しましたが、営業損失 1,555 百万円、当期総損失 1,656 百万円を計上し、新病院開院時初年度の損失と併せて純資産残高は△835 百万円となり債務超過の状況となっております。

② 当該状況を解消するための対応策

当法人では、医師看護師の確保を積極的に実施し稼働病床数を当事業年度末において 164 床まで稼働病床数を増加し収支状況の改善に努めているところです。あわせて当該債務超過の状況を解消すべく次の施策を行うこととしております。

- ・第 2 期中期計画(平成 26 年度～平成 29 年度)の変更
- ・中期計画変更に伴う平成 28 年度の設立団体及び千葉県からの総額 1,000 百万円の財政支援を予定しております。財政支援は、2 回に分けて行う予定となり、平成 28 年 4 月に 700 百万円が入金予定となります。

なお、平成 28 年度の財政支援の内訳は、特別運営費負担金 359 百万円(東金市 266 百万円、九十九里町 93 百万円)及び千葉県から設立団体に対する事業債償還支援金の前倒しによる長期借入 641 百万円を予定しております。

③ 重要な不確実性が認められる旨及びその理由

しかしながら、新病院開院にあたり資本金を財源とせずに事業債による借入等を財源とした状況が依然継続するため、新病院開院当初には避けられない損失の累積とその解消までには相応の時間を要することとなります。

したがって今後において継続企業の前提に関する重要な不確実性が当事業年度においては生じております。このため、当法人にとりましては資本金の増強が今後の継続企業の前提を確保するための最重要課題と認識しております。

④ 財務諸表は継続企業を前提として作成

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映していません。

Ⅱ 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準
期間進行基準を採用しています。

2. 減価償却の会計処理方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	6	～	47	年
構築物	10	～	40	年
器械備品	3	～	10	年

3. 退職給付に係る引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、退職給付債務に基づき計上しています。

4. 賞与引当金の計上基準

次年度以降の職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込み額を計上しております。

5. たな卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品 最終仕入原価法に基づく低価法によっております。

6. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

地方公共団体出資の機会費用の計算方法

新発 10 年国債の平成 28 年 3 月末利回りを参考に▲0.049%で計算しています。

7. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。

8. リースの会計処理

重要性が乏しい（未経過リース料の期末残高が当該期末残高、有形固定資産及び無形固定資産の期末残高の合計額に占める割合が 10 パーセント未満である）ため、記載を省略しております。

Ⅲ 重要な後発事象

次年度の財政状況における重要な後発事象として平成 27 年度までの事業年度において中期目標及び中期計画で未達事項が明らかとなり、平成 28 年度において中期目標及び中期計画の変更を行う

Ⅳ キャッシュフロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	316,779,761 円
資金期末残高	316,779,761 円

Vオペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

VI減損関係

1. 固定資産のグルーピングの方法

当法人は1病院を経営しており、法人全体を固定資産のグルーピングとしております。

VII金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金調達については、設立団体である東金市・九十九里町からの借入により調達しております。資金の用途については、運転資金であり、年度計画に従って資金調達をしております。

また短期借入金については、地方独立行政法人法第41条に基づき、認可中期計画の短期借入金の限度額の範囲内で1年以内に返済する借入金の契約を行い、資金調達を行っております。

VIIIその他重要事項

該当ありません。

附 属 明 細 書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第85 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

【単位：円】

資産の種類		期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		差引当期末 残高	摘要
							当期償却額		
有形固定 資産 (償却費損 益内)	建物	3,660,692,776			3,660,692,776	189,031,912	95,744,142	3,471,660,864	
	建物附属設備	3,034,598,103			3,034,598,103	429,879,208	217,036,554	2,604,718,895	
	構築物	357,865,740	1,582,000		359,447,740	36,111,687	18,280,932	323,336,053	
	器械備品(医療機器)	2,021,112,531	287,486,520	1,203,700	2,307,395,351	700,107,951	363,782,770	1,607,287,400	
	器械備品(一般)	133,014,295			133,014,295	50,600,660	21,753,339	82,413,635	
	その他								
	計	9,207,283,445	289,068,520	1,203,700	9,495,148,265	1,405,731,418	716,597,737	8,089,416,847	
有形固定 資産 (償却費損 益外)	建物	1,255,379,047			1,255,379,047	64,825,628	32,412,814	1,190,553,419	
	建物附属設備	23,274,201			23,274,201	3,546,066	1,773,033	19,728,135	
	構築物	58,048,571			58,048,571	9,880,416	4,940,208	48,168,155	
	器械備品(医療機器)	780,590,631			780,590,631	269,267,178	134,633,589	511,323,453	
	器械備品(一般)	18,005,860			18,005,860	6,013,944	3,006,972	11,991,916	
	その他								
	計	2,135,298,310			2,135,298,310	353,533,232	176,766,616	1,781,765,078	
非償却資産	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
	その他								
	計	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
有形固定 資産合計	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
	建物	4,916,071,823			4,916,071,823	253,857,540	128,156,956	4,662,214,283	
	建物附属設備	3,057,872,304			3,057,872,304	433,425,274	218,809,587	2,624,447,030	
	構築物	415,914,311	1,582,000		417,496,311	45,992,103	23,221,140	371,504,208	
	器械備品(医療機器)	2,801,703,162	287,486,520	1,203,700	3,087,985,982	969,375,129	498,416,359	2,118,610,853	
	器械備品(一般)	151,020,155			151,020,155	56,614,604	24,760,311	94,405,551	
	その他								
	計	12,248,092,305	289,068,520	1,203,700	12,535,957,125	1,759,264,650	893,364,353	10,776,692,475	
無形固定 資産	ソフトウェア								
	その他								
	計								
投資その 他の資産	長期貸付金	67,414,791	14,280,000	6,720,000	74,974,791			74,974,791	
	その他								
	計	67,414,791	14,280,000	6,720,000	74,974,791			74,974,791	

(2) たな卸資産の明細

【単位:円】

種 類	期 首 残 高	当期増加額		当期減少額		期 末 残 高	摘 要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	34,679,086	358,677,013		369,087,580		24,268,519	
診療材料		754,880,633		754,880,633			
貯蔵品(医療消耗品)		50,939,234		50,939,234			
計		1,164,496,880		1,174,907,447		24,268,519	

(3) 有価証券の明細

該当事項はありません。

(4) 長期貸付金の明細

【単位:円】

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
奨学金	67,414,791	14,280,000		6,720,000	74,974,791	
計	67,414,791				74,974,791	

(5) 長期借入金の明細

【単位:円】

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率	返済期限	摘要
平成22年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	905,500,000		28,600,018	876,899,982	1.9%	平成53年 3月20日	土地購入
平成23年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	138,900,000			138,900,000	1.7%	平成54年 3月20日	実施設計 業務委託
平成24年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	1,498,900,000			1,498,900,000	1.5%	平成55年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	2,318,300,000			2,318,300,000	1.6%	平成55年 9月20日	建設工事
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	3,303,000,000			3,303,000,000	1.4%	平成56年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	1,393,540,526		463,585,255	929,955,271	0.2%	平成31年 3月20日	設備整備費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	600,000,000			600,000,000	0.08%	平成36年 3月20日	運営費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	218,859,211		62,375,032	156,484,179	0.2%	平成31年 9月20日	設備整備費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	50,000,000		12,481,261	37,518,739	0.1%	平成32年 3月20日	設備整備費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		350,000,000		350,000,000	0.08%	平成37年 3月20日	運営費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		321,000,000		321,000,000	0.08%	平成38年 3月20日	運営費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		294,100,000		294,100,000	0.1%	平成33年 3月20日	設備整備費
計	10,426,999,737	965,100,000	567,041,566	10,825,058,171			

(6) 引当金の明細

【単位:円】

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	64,291,321	60,977,031	22,122,000		103,146,352	
賞与引当金	124,660,075	61,923,041	124,660,075		61,923,041	

(7) 資産除去債務の明細

該当事項はありません。

(8) 保証債務の明細

該当事項はありません。

(9) 資本金及び資本剰余金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金					
東金市	70,093,585			70,093,585	
九十九里町	25,142,265			25,142,265	
計	95,235,850			95,235,850	
資本剰余金	2,320,451,550	299,798,886		2,620,250,436	
運営費負担金	10,550			10,550	土地取得に係る費用
補助金等	2,320,441,000	299,798,886		2,620,239,886	
計	2,320,451,550	299,798,886		2,620,250,436	
損益外減価償却累計額	△ 176,766,616	△ 176,766,616		△ 353,533,232	

(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細

(10)-1 積立金及び目的積立金の明細

該当事項はありません。

(10)-2 目的積立金の取り崩しの明細

該当事項はありません。

(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

(11)-1 運営費負担金債務

【単位:円】

交付年度	期首残高	負担金当期 交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	営業外運営費負担収益	資本剰余金	小計	
平成27年度		1,234,639,853	728,353,000	206,487,967	299,798,886	1,234,639,853	0

(12) (運営費負担金以外の) 地方公共団体等からの財源措置の明細

補助金等の明細

【単位:円】

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上
病院群輪番制病院運営事業助成金 (山武郡市広域行政組合)	7,200,000				7,200,000
2次輪番病院医師確保等対策助成金 (山武郡市広域行政組合)	1,442,000				1,442,000
看護師等充足対策事業補助金(千葉県)	530,000				530,000
新人看護師確保対策事業補助金(千葉県)	305,000				305,000
計	9,477,000				9,477,000

(13) 役員及び職員の給与の明細

【単位:千円・人】

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(1072) 20,599	(4) 1		
職員	(218,922) 1,929,366	(69) 281	22,122	35
計	(219,994) 1,949,965	(73) 282	22,122	35

(注1) 非常勤の役職員については、外数として()で記載しました。

(注2) 役員報酬については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員の期末手当及び勤労手当に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員の退職手当に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの任期付職員の採用等に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター派遣職員就業規則」及び「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター非常勤職員就業規則」に基づき支給しています。

(注3) 上記明細には、法定福利費・退職給与引当金・賞与引当金を含めていません。

(14) 開示すべきセグメント情報

該当事項はありません。

(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(15) -1 現金及び預金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
現金	7,903,398	
普通預金	308,876,363	
計	316,779,761	

(15) -2 医業未収金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
入院収益	503,747,130	
外来収益	87,961,891	
その他の医業収益	6,098,627	
計	597,807,648	

(15) -3 医業未払金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
時間外勤務手当	17,945,130	
特殊勤務手当		
夜間勤務手当	8,997,891	
宿日直手当	1,111,586	
救急呼出待機手当	1,192,000	
診療特別手当	22,769,440	
その他手当		
賞金	17,746,516	
社会保険料事業主負担	9,400,367	
共済組合負担金	19,051,278	
薬品費	88,778,333	
診療材料費	212,167,496	
医療消耗備品費	10,291,033	
福利厚生費	36,000	
報償費	704,160	
旅費交通費	59,546	
消耗品費	7,492,456	
光熱水費	12,128,900	
修繕費	86,134	
広告料	344,088	
賃借料	20,174,996	
検査委託費	19,265,551	
滅菌消毒・SPD委託費	15,263,532	
給食委託費	18,617,711	
医事委託費	24,516,000	
清掃委託費	17,938,800	
保守委託費	55,008,800	
その他委託料	33,938,316	
使用料	291,887	
支払寄附金	5,825,000	
燃料費	3,190	
研究雑費	904,500	
租税公課	4,287,500	
計	646,338,137	

決算報告書

平成27年度
(第6期事業年度)

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平成27年度決算報告書

【単位:円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
収入				
営業収益	5,315,000,000	4,382,088,919	△ 932,911,081	
医業収益	4,757,000,000	3,618,864,337	△ 1,138,135,663	中期計画とおりの病棟開棟が行えず、外来患者数も少ないことが要因
運営費負担金収益	549,000,000	728,353,000	179,353,000	運営費負担金の追加分が増加
補助金等収益	7,000,000	9,477,000	2,477,000	
資産見返運営費負担金戻入		22,604,287	22,604,287	
資産見返補助金戻入		0	0	
その他営業収益	2,000,000	2,790,295	790,295	
営業外収益	207,000,000	230,364,927	23,364,927	
運営費負担金収益	207,000,000	206,487,967	△ 512,033	
財務収益		35,599	35,599	
雑益		23,841,361	23,841,361	平成26年度消費税の還付金
資本収入	950,000,000	1,264,898,886	314,898,886	
資本金収入				
運営費負担金収入	300,000,000	299,798,886	△ 201,114	
補助金収入				
長期借入金	650,000,000	965,100,000	315,100,000	資金不足による借入金の増額
その他の収入	500,000,000	500,000,000		
計	6,972,000,000	6,377,352,732	△ 594,647,268	
支出				
営業費用	5,513,000,000	5,242,188,793	△ 270,811,207	
医業費用	5,241,000,000	5,026,236,164	△ 214,763,836	
給与費	2,539,000,000	2,303,045,864	△ 235,954,136	計画通りの看護師を確保できなかったため
材料費	1,284,000,000	1,174,907,447	△ 109,092,553	計画通りの開棟ができず、想定患者数を下回ったため
減価償却費		0	0	
経費	1,410,000,000	1,543,446,953	133,446,953	
その他医業費用	8,000,000	4,835,900	△ 3,164,100	
一般管理費	272,000,000	215,952,629	△ 56,047,371	
営業外費用	132,000,000	131,610,972	△ 389,028	
資本支出	805,000,000	592,692,314	△ 212,307,686	
建設改良費	300,000,000	98,892,051	△ 201,107,949	年度末購入の医療機器等の支払いが翌年度になったため
その他資本支出	505,000,000	493,800,263	△ 11,199,737	
その他の支出	350,000,000	350,000,000		
計	6,800,000,000	6,316,492,079	△ 483,507,921	
単年度資金収支 (収入-支出)	172,000,000	60,860,653	△ 111,139,347	

(注1)決算額は、収入については現金預金の収入額に期首期末の未収金額等を加減算したものを、支出については現金預金の支出額に期首期末の未払金額等を加減算したものを記載しています。

(注2)上記の数値は、消費税込みの金額を記載しています。

平成 27 年度 事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 法人現況

(1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 本部の所在地

千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

(3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員の状況(平成28年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、本吉 伸弘、篠崎 純（非常勤）、横須賀 収（非常勤）、大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

(5) 職員数(平成28年3月31日現在)

常勤職員：282名 非常勤職員：69名

2. 病院現況

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開 院：平成26年4月1日開院

病床数：164床（救命救急センター（ICU10床・HCU10床）、一般144床）

診療科： 18科

医 師： 65名（常勤37名 非常勤28名）

看護師：180名（常勤155 非常勤25名）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

平成27年度における全体的な状況

1. 大項目ごとの特記事項

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入を行った。
- ・初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとして患者の受け入れを行った。
- ・二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担い、一月あたり夜間4コマ、休日日中2コマ病院群輪番制に参加した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

○効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うための運営会議を整備した。

また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、運営会議において平成27年度の運営状況について説明を行い年度計画における目標の進捗管理を行った。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

○収益の確保

年度計画とおりの開棟を目指すも看護師の確保状況から予定した病床数の確保は行えなかった。

しかし、外来診療単価及び入院診療単価においては、年度目標を達成した。

収益確保策として平成28年1月に7対1入院基本料の施設基準を取得した。

診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施した。未収金回収対策として督促や催告を行い対応した。

医師を中心に多職種で構成された保険委員会を毎月開催し査定返戻等の状況を協議し対策を講じた。

○費用の合理化

中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を採用した。

診療材料は、外部委託を活用した預託在庫方式を用いて在庫管理を行い、薬品においては薬剤部を中心に在庫システムを利用した在庫管理を行った。ジェネリック医薬品の採用は少ないながらも薬事委員会で使用数の多い部分の医薬品においてジェネリック医薬品に変更するなどの調整を行い費用の節減を図った。

〈実績〉

後発医薬品採用率 43%

＜実績数値＞

事 項	平成27年度目標
経常収益	4,612百万円
入院 一般病床利用率	83.4%
平均患者数	114.8人/日
診療報酬単価	51,681円
外来 平均患者数	189.1人/日
診療報酬単価	13,205円

2. 平成27年度における項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 地域の中核病院として担うべき医療

(1) 小児医療・小児救急医療

- ・急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療の提供を行った。
- ・救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力の下小児救急医療に対応した。

(2) 周産期医療

- ・周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療を行うため、千葉県の協力のもと、次年度着任の医師の確保を行った。

(3) 災害医療

- ・地域災害拠点病院として機能災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。
- ・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。

9月1日 政府主催総合防災訓練の実施

9月11・12日 北関東・東北の豪雨災害の被災地においてDMATとして活動を行った。

(4) 感染症医療

- ・結核については結核患者収容モデル病床を使用し、結核患者に対応した医療を提供した。
- ・HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討をした。
- ・新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときに備え、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行えるよう、マニュアル等の作成と整備を行った。

3 高度専門医療

(1) 4疾病への対応

① がん

消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院等と連携して治療を行った。

がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がんについても対応した。

地域におけるがん診療の拠点的機能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を検討

した。

② 脳卒中

脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等の治療を行った。

また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保した。

③ 急性心筋梗塞

急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。

④ 糖尿病

糖尿病については、外来での一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行った。住民を対象とした糖尿病教室を開催した。また、糖尿病患者の入院治療に対応するとともに食事療養やインスリン注射等の自己管理を中心とした教育入院の対応を行った。

（2）高度で専門性の高い医療

① 高度な総合医療

入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供し、18診療科の体制を整備した。外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。

② チーム医療の推進

それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医療を提供した。

医師を含む多職種で構成するNST（栄養サポートチーム）等のチーム医療体制を構築し活動した。

③ 高度専門医療の充実

医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要な診療科を重点的に整備し、より高度な専門医療体制を構築した。

また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を取得する検討を行った。

・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条第1項の規定による指定
自立支援医療機関

・臨床研修病院指定

・日本外科学会外科専門医制度関連施設

・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設

・日本呼吸器学会関連施設

・日本消化器病学会専門医制度認定施設

4 安全・安心で信頼される医療

（1）医療安全体制の徹底

① 医療安全対策の徹底

医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。

また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備し、年 2 回医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。

② 院内感染防止対策の徹底

感染管理委員会による研修会を実施した。また、千葉大学医学部附属病院の研修に参加する等、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図った。

また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処した。

(2) 患者の視点に立った医療の実践

インフォームド・コンセントを徹底するため、患者パス等で患者の視点に立った説明を行った。

患者やその家族に対し満足度の高い医療を提供するため、満足度調査として意見箱を設置し調査を行った。

(3) 医療の標準化と診療情報の分析

クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの導入及び運用を積極的に行った。

また、DPC（診断群分類別包括評価）に対応するデータを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図った。

DPC対象病院の認定についてDPC準備病院として申請を行い平成 30 年取得に向け準備を行った。

(4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図った。

5 患者・住民サービスの向上

(1) 利用しやすい病院づくり

患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底し、出入口の車いすの配置や、総合案内・総合受付の対応により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備した。

また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握した。

(2) 患者の待ち時間への配慮

外来診療、会計等の待ち時間を短縮するため、外来診療に係るシステムの見直しを行い次年度に体制を構築するため検討を行った。

(3) 患者・来院者の利便性への配慮

患者や来院者の利便性に配慮し、売店運営の時間延長やクレジットカード等の決済を導入した。

(4) 住民への保健医療情報の提供

医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。

糖尿病教室 毎月第1金曜日開催

(5) 職員の接遇向上

患者や来院者に接するに相応しい接遇を行うため、職員に対し接遇研修を行った。

6 地域医療への貢献

(1) 地域医療連携室との連携推進

地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介の対応を行った。

地域医療連携室の活動として地域の医師会の協力を得ながら地域の医療機関と密接な関係を構築した。

骨密度測定検査について医療機器の共同利用を開始した。

(2) 保健福祉行政等との協力

地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図った。

自治体消防部局と連携し救急救命士の教育研修を実施した。

また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。

(3) 疾病予防の取組

予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行った。

7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟

平成27年度は、内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科の18診療科とした。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

(1) 人員配置の弾力的運用

患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、整形外科等の患者数の多い診療科においては、積極的に後期研修医を配置した。

また、看護部においては、7対1入院基本料の看護師定員に沿った人員の配置を行った。

(2) 人事評価制度の導入

職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度について試験的導入として事務部を対象に評価を行った。

(3) 外部評価

① 監査の活用

監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行い、結果を公表した。

② 病院機能評価等の活用

組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うため検討した。

③ 住民意見の活用

住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査を実施した。また、意見箱の設置を行い、現状を把握に努めた。

2 人材の確保

(1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携

千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備した。

(2) 医師の確保

千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、平成 27 年 9 月に臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医の受入を開始した。

(3) 看護師の確保

新たに設置した看護師確保対策室のもと県内の看護学校への訪問や県内高校への看護師育成を目的とする広報活動を行い看護師確保に努めた。

法人独自の活動による合同就職説明会への参加や就職説明会・採用試験の複数回実施を行った。

また、インターネットを利用した看護部専用ホームページを作成し広報活動を強化するとともに各種媒体への広告掲載、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を行った。

次年度の看護師確保に向けて奨学金制度の見直しを行い、より多くの奨学生を確保できるよう検討を行った。

城西国際大学看護学部等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、インターンシップも行い、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図った。

3 人材育成

学会、研究会及び研修会への参加を促進した。

医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得のための研修や学会発表を行った。薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた研修や学会発表を行った。事務職員については、医師事務作業補助者の資格取得のための研修に参加した。

4 働きやすい職場環境の整備

医師・看護師宿舎の効果的な活用を行った。

院内保育所については、夜勤等の勤務状況を踏まえた受け入れ態勢を整備した。

医師・看護師等の業務負担軽減のための事務補助員を適正配置した。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等を行った。

5 職員給与の原則

医師の人事異動等に法人の年度内実績を反映させるため、医師の賞与支給日を変更した。

支給日：6月15日・12月10日

→9月15日・3月10日

・職員給与費対医業収益比率 69.0%

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 健全な経営基盤の確立

(1) 健全な経営基盤の確立

全職員が経営情報を共有できるよう平成27年度の運営状況について運営会議に報告した。

また、物流委員会で診療材料等の調達に関し、各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築した。

(2) 経営情報システムの整備

財務会計システムについては、経営判断や意思決定に資する有効なシステムとなるよう顧問である公認会計士の意見を取り入れ機能の追加や見直しを行った。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

1 財政負担の原則

財政負担のとおり実施した。

総額：728,353,000円

東金市：548,633,000円

九十九里町：179,720,000円

長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金の額

総額：206,487,967円

東金市：157,258,093円

九十九里町：49,229,874円

2 地域に対する広報

ホームページの更新や看護部専用のホームページの設置を行った。また、設立団体の広報に協力をいただき診療科や医師の情報提供を行った。

第5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画

省略(財務諸表等による)

第6 短期借入金の限度額

500百万円の短期借入

借入先：千葉興業銀行東金サンピア支店

運転資金等の資金不足により短期借入れを行った。

第7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画

平成27年度は該当する財産の処分はない。

第 8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

平成 27 年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。

第 9 剰余金の使途

平成 27 年度においては、該当する剰余金がない。

第 10 料金に関する事項

省略

第 11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

医療機器等の購入費として総額 294 百万円を借入した。

財源：東金市及び九十九里町長期借入金

2 積立金の処分に関する計画

平成 27 年度においては、積立金の処分に関する計画はない。